

# 監事就任

学校法人 神奈川歯科大学は、新しく高橋和人先生が理事長になられ、監事でおられた鈴木 祥井先生が理事に昇格された為に、後任の人事で私が監事に任命されました。

今までは、大学内部だけの人事でしたが、外部より選出されたということは、新理事長が大学内部をより透明性にするためだと思われ、非常に勇氣ある決断ではないかと思えます。卒業生から清水理事、三宅理事のお二人が活躍されているのは

皆様御承知の事ですが、私としては、心強いばかりです。

監事は重要な職務であり、大変な役を引き受けたものと悩みましたが、お引き受けしたからには、大学の為に頑張る所存です。



藤田同窓会会長には、はげましのお言葉をいただき感謝しております。

学校法人神奈川歯科大学 監事 沼 智博

## 支部長の異動

岐阜県支部			
新支部長	田澤 正美	15回生	
前支部長	加藤 寿保	10回生	
福岡県支部			
新支部長	内田 雄治	5回生	
前支部長	山道 信之	3回生	

## 代議員の異動

岐阜県支部			
新代議員	田澤 正美	15回生	
前代議員	加藤 寿保	10回生	
新予備代議員	牛丸 忠司	7回生	
前予備代議員	田澤 正美	15回生	
福岡県支部			
新代議員	下川 聖人	9回生	
前代議員	山道 信之	3回生	
新予備代議員	石川 健一	18回生	
前予備代議員	下川 聖人	9回生	

## 大学人事異動

### 告示

下記のとおり発令したので茲に告示いたします  
任 内科学講座助教授(横浜研修センター勤務)

田邊 亮

任 院務部管理課事務主任

大西由有子

平成16年10月1日付

学校法人神奈川歯科大学

### 告示

下記のとおり発令したので茲に告示いたします  
任 教授(眼科学助教授)

原 直人

任 講師(顎顔面外科学助手)

土肥 雅彦

平成16年11月1日付

学校法人神奈川歯科大学

理事長 高橋 和人

## 告示

平成16年11月4日の評議員会及び理事会において、理事及び評議員の選任が行われ次の通りとなりました。下記のとおり発令したので茲に告示いたします

辞任 監事 鈴木 祥井  
辞任 評議員 菅谷 房吉

(寄附行為第16条第1項第3号による評議員)  
以上平成16年11月4日付

就任 評議員 鈴木 祥井  
(寄附行為第16条第1項第3号による評議員)

就任 理事 鈴木 祥井  
(寄附行為第7条第1項第3号による理事)

以上平成16年11月4日付  
学校法人神奈川歯科大学  
理事長 高橋 和人

## 告示

平成16年11月17日の理事会において、監事の選任が行われ、次の通りとなりました。

就任 監事 沼 智博  
(寄附行為第8条による監事)

以上平成16年11月17日付  
学校法人神奈川歯科大学  
理事長 高橋 和人

## 告示

下記のとおり発令したので茲に告示いたします  
任 総合歯科学講座講師(横浜研修センター勤務)

原 めぐみ

任 院務部次長 大木 正好

平成17年1月1日付

学校法人神奈川歯科大学

理事長 高橋 和人

## 訃

## 報

【正会員】  
榊 俊則先生(埼玉県支部 19回生)

平成16年11月5日ご逝去

黒澤 正樹先生(北海道支部 15回生)

平成16年12月16日ご逝去

## 稲岡点鐘

### 《代議員会のあり方への一考》

代議員会は、ご承知のとおり年2回開催されている。逆に言えば代議員が各地から集まるのは、年に2回しかないということである。そのたった2回しかない代議員会のあり方が、非常に形骸化したものになり、その機能を果していない。これは今始まったものではなく、私の知りうる10年前ぐらいから、一向に変わるものではない。今のままでの運営を継続することは、時間と経費の壮大な無駄使いとさえ言えよう。

代議員会での限られた時間内で有益な議論がなされない現状では、その存在意義も問われる。貴重な時間をやりくりし遠方より来られた代議員は、地元での報告をどの様にしているのだろうか？報告し様にも「何も無い」が正直なところだろう。

代議員会の改革は、他のものと同様早急に行われなければならない。代議員会の衰退は、同時に同窓会の衰退を意味するからである。どんな組織・団体も、創設された時間が経過するにつれ、創設期の志が薄れ、時として自己の権利のみを主張し、自己の権益を得るが為、私的に利用する者が出現するのは世の常である。だがしかし、神奈川歯科大学同窓会には、そのような愚挙がないことを、心から期待したいものである。

まず、代議員の問題では、その選考にあたり年功序列は改め、卒業したてでも、本人にやる気があれば30代、40代に任せるべきである。観光気分で作られる代議員などは不必要である。広報では、代議員会での代議員の発言を全て公開しようとの考えもあった。それは、自分たちの代表の代議員がどのような発言をしたか、他にどのような意見がでたか、地元での報告と共に紙面で確認していただきたいと考えたからである。また、会議で質問する代議員が少なく、地元での意見調整などが事前に十分行われているのか、

いささか懐疑的に思える状態である。今後は本部とはメール等で、個人的にも質問、問題提起などが行える環境が出来るが、是非各支部での組織強化を考える上でも、各支部の会員の意見をまとめ上げて、代議員会に望んでいただきたい。それは、支部長の仕事であり、代議員の重要な仕事でもある。現状は、それが出来ていない様に感じられる。

それに関連し、代議員会当日に行う支部長会議のあり方も非常に問題がある。本来支部長会議での協議された問題を地元を持ち帰り、討議して代議員会に出す事が本来のあり方と思うが、いつの頃からか経費の削減、支部長の負担軽減と言う事で同日開催となったと理解している。しかし、これは改められるべきであり、代議員会の一ヶ月前ぐらいの開催にしなければ、議事の進行が半年遅れになるばかりか、何の意味をも持たないものとなる。経費等の問題はあってもせよ代議員会を効率的な最高決定機関とするならば、これこそは改革の最優先項目である。

一方、執行部側の問題として事前質問に対する対応の甘さ、的確な答弁の欠如が露呈している。代議員会でも、事前質問の対応のまずさを指摘する声も上がった。何の為の事前質問か？

当然な事である。しかし、事前質問の内容(要旨)が何を問うているか、何を意図した質問か甚だ解釈に苦しむ物が有るのもまた事実である。的確な質問内容の記載も心がけていただきたい。だが執行部には、その質問を理解する為にも、質問者に真意を問いただすなどの努力が必要な事は言うまでもない。

代議員会は年2回しかなく、限られた4時間ほどの貴重な討議の場である。各人自覚を持ってこれらに当たり、稚拙な議論に終始することなく、発展的な議論の場になることを期待する。

会員の代表である代議員も執行部も同窓会の発展の為に一層の自覚を促したい。

平成16年9・10・11・12月会務報告				
月	日	曜	行 事	講師：出席者
9月	5	日	クリニカルコース歯科コラボレーションの真髄 『修復治療における審美回復へのアプローチ』	講師：土屋賢司先生・土屋覚先生・土屋和子先生
	11	土	第4回理事会 山梨県支部学術講演会	講師：伊海博之先生（24回生）
	26	日	学術講演会ペリオサミット2004 『アメリカンペリオVsスキャンジナビアンオエリオ』 高知県支部学術講演会	講師：船越栄治先生・弘岡秀明先生 講師：出口眞二教授（9回生）
10月	7	木	第4回広報委員会	
	10	日	クリニカルコース『成功率を高める歯内療法』－講義編－ 九州地区連合会総会・熊本県支部学術講演会	講師：澤田則宏先生 藤田・押川・岩本・講師：豊田實教授（2回生）
	14	木	第5回広報委員会	
	16	土	第2回常務連絡会	
	23	土	クリニカルコース『成功率を高める歯内療法』－実習編－ 福岡祭無料歯科相談 新潟県支部学術講演会（空穂の会） 宮崎県支部創立30周年記念式典及び披露パーティ	講師：澤田則宏先生 齋藤・滝川博之（27回生） 北川原聡（35回生）井原ちえ（35回生） 講師：小野塚 実教授 藤田・岩本
	24	日	クリニカルコース『成功率を高める歯内療法』－実習編－ 福岡祭無料歯科相談	講師：澤田則宏先生 富川・田口長（24回生）千由紀（24回生）浜野奈穂（30回生） 松浦剛士（31回生）岡田裕佳（35回生）
	28	木	第7回学術委員会	
29	金	第20回日本歯科医学会総会	藤田	
11月	2	火	故柴田嘉則先生を偲ぶ会	笹原
	4	木	組織強化関連三役会議	
	7	日	学術講演会「補綴治療における“Longevity” 永続性の実現－咬合の安定と精度の維持－	講師：藤本順平先生
	13	土	富山県支部学術講演会 東京都支部平成16年度第1回学術講演会	講師：出口眞二教授（9回生） 笹原・講師：獨協医科大学教授今井裕先生（4回生）
	20	土	第5回理事会	
	23	火	私立歯科大学歯学部同窓・校友会12校会議 日歯会長との懇話会・時局講演会	藤田・笹原・井本・大館・藤田（昊）・宮川・檀上
27	土	静岡県支部秋季講演会	藤田・講師：堤弘治先生（22回生）	
12月	2	木	第8回学術委員会	
	4	土	第2回監事会 第6回理事会 学会総会	
	5	日	第2回代議員会運営委員会 平成16年度第1回表彰選考委員会	
	13	月	第20回日本歯科医学会総会感謝会	藤田
	16	木	平成16年度第1回奨学者審議部会	